

平成30年度 町の

決算

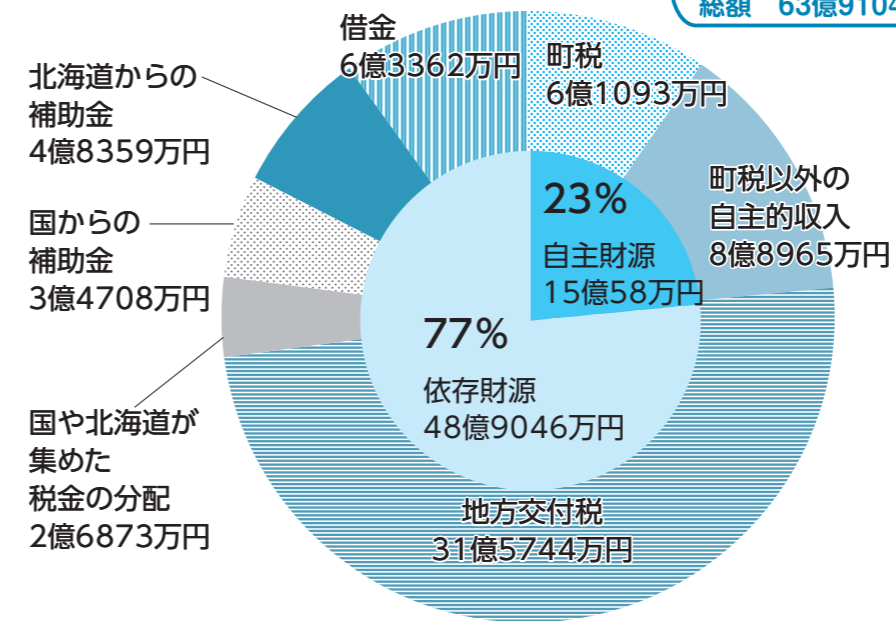
町では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えしています。町の平成30年度決算の概要をお知らせします。

■**収支**
一般会計の収入は、63億9104万円、支出は61億3459万円で、差引2億5645万円の黒字決算となりました。

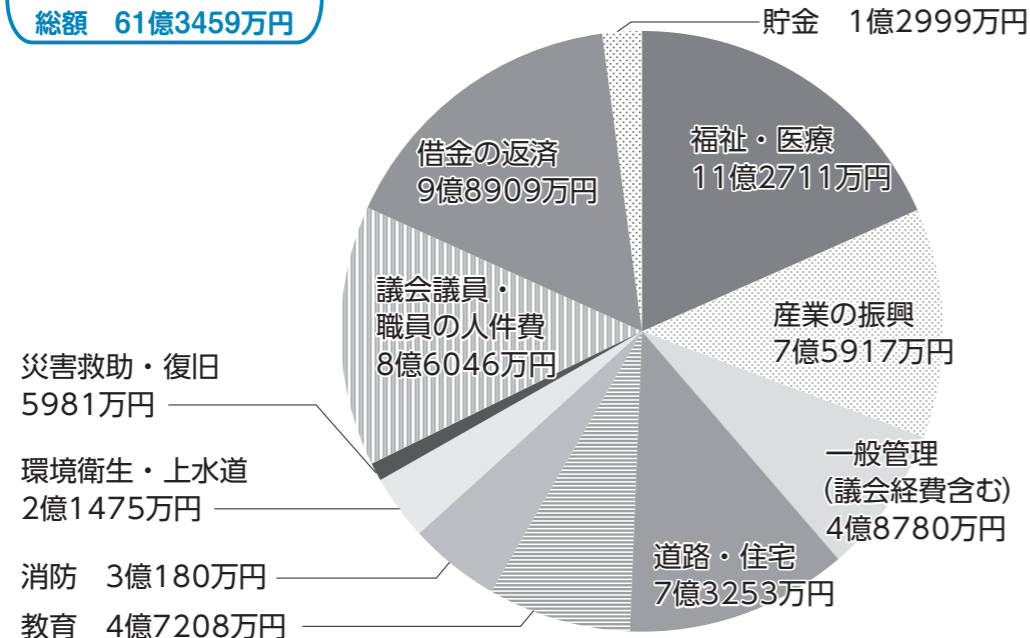
■**収入**
町税と町税以外の自主的収入（施設利用料など）を合わせて自主財源と呼びます。自主財源の割合は23%です。
残り77%は国や北海道から受ける**依存財源**に頼っています。
しかし、依存財源の大部分を占める地方交付税は、町が自由に使える財源ですので、「自主財源の割合が低い＝財政状況が厳しい」ということではありません。

■**支出**
前年度と比べ6千万円増えました。スクールバス運行の民間委託やスキー場の庄雪車購入が主な理由です。
■**消防**
前年度と比べ1億8百万円増えました。胆振東部地震や大雨被害などの対応、災害時に避難所となる小学校やスポーツセンターのM-FP環境整備が主な理由です。
■**環境衛生・上水道**
前年度と比べ3千6百万円増えました。中空知3市2町で運営していた衛生センター（し尿などの処理施設）の解体にかかる負担金の増加が主な理由です。
■**借金の返済**
前年度と比べ2億7千万円増えました。平成28年と29年に借り入れていた借金の繰上償還（期限前に返済することで将来の負担を軽減すること）を行ったことが主な理由です。

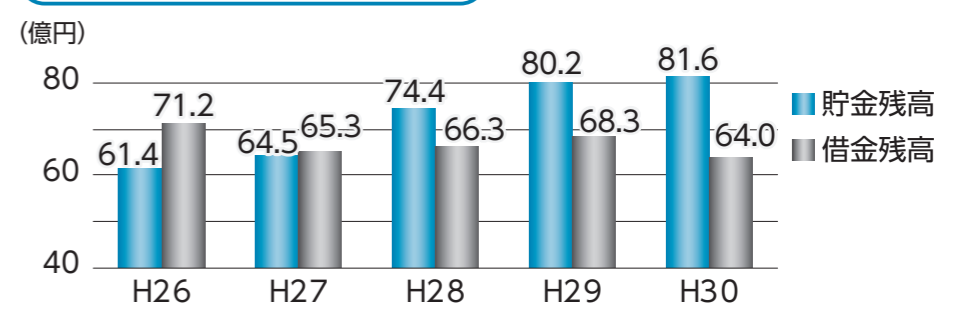
一般会計の収入
総額 63億9104万円



一般会計の支出
総額 61億3459万円



過去5年間の貯金と借金



各会計の決算額

会計	収入	支出	差引	
一般会計	63億9104万円	61億3459万円	2億5645万円	
特別会計	国民健康保険	3億6416万円	3億5388万円	1028万円
	後期高齢者医療	1億1309万円	1億1300万円	9万円
	下水道事業	1億8582万円	1億8582万円	0円
	農業集落排水事業	2802万円	2802万円	0円
合計	70億8213万円	68億1531万円	2億6682万円	

財政指標

指標	早期健全化基準※	新十津川町の比率	説明
実質赤字比率 一般会計の赤字割合	15%	-	赤字がないため「-」と表示しています
連結実質赤字比率 全会計通算の赤字割合	20%	-	
実質公債費比率 年間の借金返済額割合	25%	-0.9%	健全な水準です
将来負担比率 将来の負担になる借金割合	350%	-	借金残高を償還財源が上回ります
資金不足比率 下水道と農業集落排水事業の赤字割合	20%	-	赤字がないため「-」と表示しています

※この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要になります。

■**財政指標**
健全化判断比率と資金不足比率は、まちの財政状況が悪くなっていないかを確認するための指標で、法律によって公表することが義務付けられています。
新十津川町は、すべての会計で赤字はありません。また、将来支払わなければならない

■**公会計制度**
国が示した基準に基づいて財務書類を作成しました。ホームページで公表していますので、併せてご覧ください。
■**貯金**
貯金は、平成29年度と比較すると1億4千万円増えています。
貯めたお金は新庁舎の建設費や子どもの教育費、町の魅力を発信する観光費などに活用しています。
■**借金**
借金は前年度と比べ、4億3千万円減っています。
貯金は増え、借金は減っているため、財政状況は安定しているといえます。